

指定管理者総合評価シート

様式 4

施設名	十余三パークゴルフ場		
指定管理者	エアポートパークゴルフ管理組合		
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日	～ 令和 9 年 3 月 31 日	4 年目
施設所管課	シティプロモーション 部	スポーツ振興 課	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅰ 実施体制に関する評価	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	A	A
	人員体制	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	A	A
		スタッフのシフトは適正であるか	A	A
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	A	A
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	A	A
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	A	A
		外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか	A	A
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	A	A
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	A	A
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	A	A
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	B	A
	危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	B	B
		避難経路は適切に確保されているか	—	—
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	A	A
	個人情報保護	個人情報等の管理は適切か	A	A
		個人情報保護に関する規程が整備されているか	A	A
		情報漏えいを防止する仕組みや対応策が構築されているか	A	A
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されているか	B	A
		協定書等に従い、情報を適切に管理しているか	B	A
	その他			
	【総括 Ⅰ】	実施体制の履行状況に関する評価(標準 19 項目・本施設 18 項目)	A	
	指定管理者の自己評価	人員体制や利用料金、記録管理や個人情報の管理といった点に関しては、問題なく正常に回っているが、規模の点から危機管理に関する訓練等は十分に行うことができなかった。		
	施設所管課の評価	市と連絡調整をこまめに行い、基本協定や年度協定に基づき、概ね適切に管理・運営ができていた。		

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅱ サービスの内容や水準に関する評価	利用者対応	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	A	A
		言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	A	A
	利用案内	ホームページは計画どおりに運用されているか	—	—
		利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか	A	A
	利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	A	A
		利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか	A	A
	事業の実施	事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	A	A
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	A	A
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか	A	A
		参加促進への取組を積極的に実施しているか	A	A
	環境への配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか	A	A
	苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	A	A
	利用者への調査	利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか	A	A
		利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	A	A
	維持管理	施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	A	A
		日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか	A	A
		備品台帳により記録が適切に保管されているか	A	A
		市と指定管理者の備品が明確に区別されているか	A	A
		必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	B	A
	その他			
	【総括 Ⅱ】	サービス等の内容や水準に関する評価(標準 19 項目・本施設 18 項目)	A	

指定管理者総合評価シート

様式 4

Ⅱ 評価	指定管理者の自己評価	利用者からの要望を取り入れ、設備整備や環境を重視はしてるもの、新規利用者を確保出来ず、売り上げは厳しい状況が続いている。
	施設所管課の評価	初心者の方などに、アドバイザーがついてコースを回るなど、利用者と積極的にコミュニケーションをとり、利用者目線での管理・運営ができていた。

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ 収支等に関する評価	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	B	A
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	A	A
		料金徴収、減免、還付の手続は適切に処理していたか	A	A
	予算執行	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	B	A
		収支計画と事業計画の整合はとれていたか	B	A
	経費節減	経費削減に向けた取組を積極的に実施し、その効果が上がったか	B	A
	その他			
	【総括 Ⅲ】	収支等に関する評価（標準 6 項目・本施設 6 項目）	A	
	指定管理者の自己評価	物価高騰の事前把握に乏しく、収支終了時に厳しい時を迎えている。		
	施設所管課の評価	物価高騰や賃金上昇の影響があるが、修繕を管理組合で実施するなど、経費削減を心がけながら、予算執行ができていた。		

評価項目		評価基準/目標は達成されたか	数値目標	自己評価	所管課評価
Ⅳ 目標管理に関する評価	目標①	増額経費箇所の見直し		B	A
	目標②	年間入場者数	5,000人	A	A
	目標③			—	—
	【総括 Ⅳ】	目標管理に関する評価(標準 2 項目・本施設 2 項目)			A
	指定管理者の自己評価	年間入場者数に関しては目標の5,000人に対して4,765人と、天候の不順にしてはまずまずであったと言える。チケット販売を採用したため、以前に比べ売り上げ金額は、思った程下がってはいない。			
	施設所管課の評価	利用者数増加のため、チケット制の運用や利用者に積極的にアドバイスを行うなど創意工夫をしながら運営を行っていた。			

V	【総合評価】	I ～Ⅳの総括による総合評価	A
---	--------	----------------	---

Ⅵ 特記事項	特に評価される点	利用者に積極的に声かけを行うなど利用者目線の運営ができていた。 施設の維持管理についても、早急に対応ができていた。
	改善が望まれる点	